

汎用オイルクーラキット 取付説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。
取扱説明書を先に読んでから作業を行なってください。
本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	汎用オイルクーラキット・Rタイプ
用 途	自動車専用部品
コ ー ド	15002-AK001, 15002-AK002, 15002-AK003, 15002-AK004,
製品説明書品番	E04261-K00042-00 Ver.3-3.03
メ ー カ ー 車 種	汎用
エ ン ジ ン 型 式	汎用
備 考	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・アダプタサーモAssyに温度センサ用にM12 P=1.25、油圧センサ用にPT1/8のサービスホールがあります。・取付ける車両によって、ステー等の加工が必要になります。 <p>【別途必要部品】</p> <ul style="list-style-type: none">・新品のHKS製エンジンオイル・3/4-16 UNFのねじのオイルフィルタ(Oリング内径 55~ 70)・M12-PT1/8変換アダプタ(2面幅17mm)(温度センサ取付けフィッティングがPT1/8の場合)





改訂の記録

改訂	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2004/08	初版
3-3.02	2008/04	パーツリスト変更、記載方法変更
3-3.03	2008/09	パーツリスト変更

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
1	15006-AK001	オイルク - ラコア	1		15002-AK001用
1	15006-AK002	オイルク - ラコア	1		15002-AK002用
1	15006-AK003	オイルク - ラコア	1		15002-AK003用
1	15006-AK004	オイルク - ラコア	1		15002-AK004用
2	2599-SA013	アダプタサーモ Assy	1		
3	2599-SA012	取出シアタッチメント Assy	1		
4	15600-0201320A	アタッチメントボルトA	1		3/4-16 UNF
5	15600-0191320A	アタッチメントボルトB	1		M20 P=1.5
6	15999-AK002	Oリング JASO 3067	1		内径 66.6
7	15999-AK001	Oリング JASO 3056	1		内径 55.6
8	15999-AK003	Oリング JASO 1026	1		内径 26.2
9	2599-SA015	オイルク - ラステー	2		
10	2599-SA014	アダプタサーモステー	1		
11	15999-AK004	フィッティングストレート	4		
12	15999-AK005	フィッティング45°	2		
13	15999-AK006	フィッティング90°	2		
14	15771-010100	AQPホース	1		3m #10
15		ボルトM6 L=15	5		P=1.0
16		ボルトM8 L=20	10		P=1.25
17		ナットM6	5		P=1.0
18		ナットM8	10		P=1.25
19		スプリングワッシャM6用	5		

パーツリスト

連番	コード	品名	数量	形状	備考
20		スプリングワッシャM8用	10		
21		プレーンワッシャM6用	10		
22		プレーンワッシャM8用	20		
23	15719-075100	スパイラルチューブ	1		D=20 L=3000
24		タイラップ(中)	10		
25		タイラップ(大)	5		
26	93050-002100TP	取扱説明書	1		
27	E04261-K00042-00	取付説明書	1		

本書は、取付けの基本の形を説明したものです。車種によって取付けが異なりますのでご了承ください。

1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前に、エンジンオイル、冷却水を準備しバッテリーのマイナス端子を取外してください。必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行ってください。

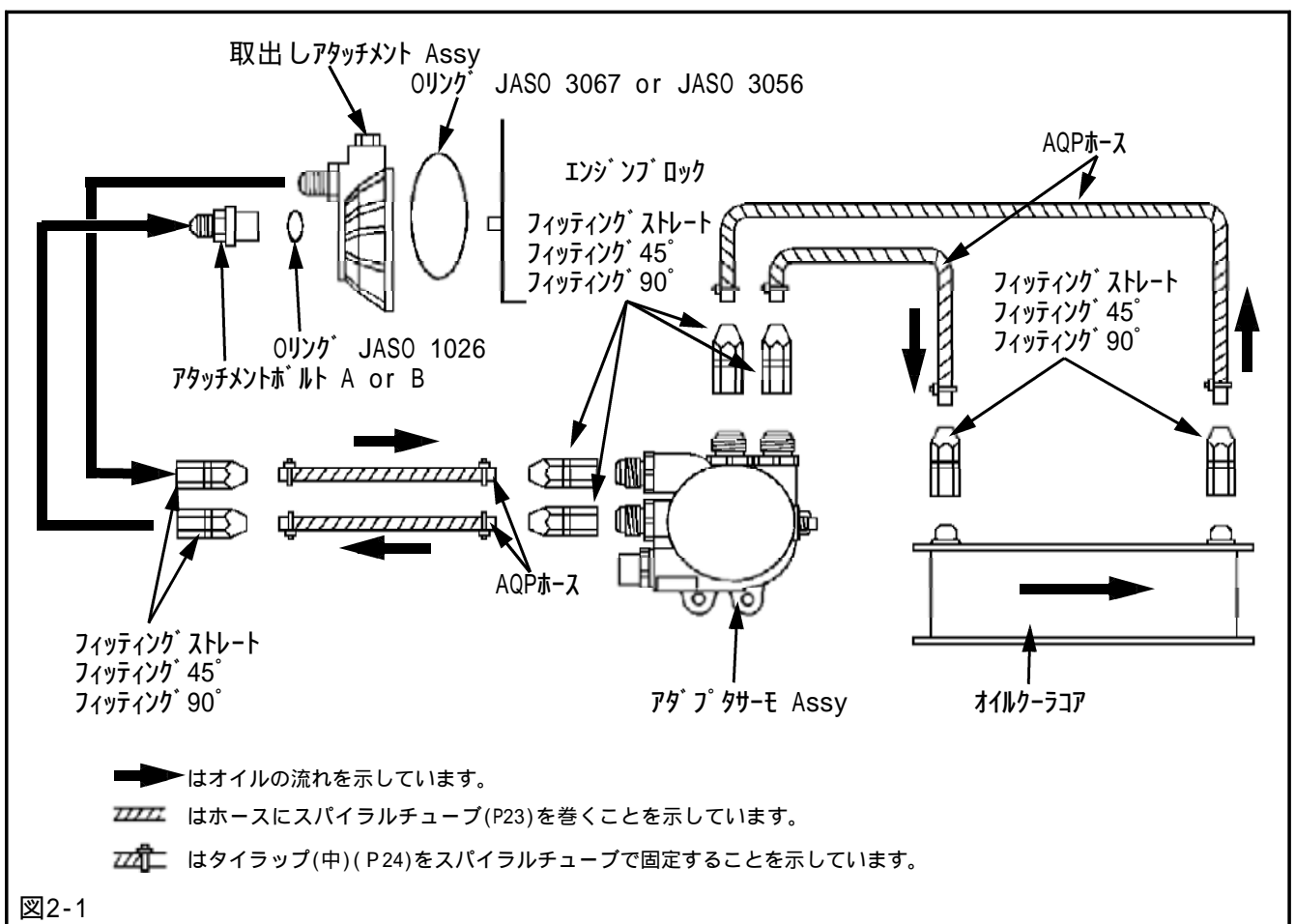
- (1) レイアウトにより、アンダカバー又はバンパ等を取外して作業が行ないやすいようにしてください。
- (2) エンジンオイルを抜取ってください。
- (3) 純正オイルクーラを装着している車両は、メーカー発行の整備要領書の手順に従ってオイルクーラを取外してください。
- (4) オイルフィルタレンチ又はパイプレンチを使用して、オイルフィルタを取外してください。

アドバイス

- ・ 取外した時、オイルがこぼれますので、受け皿等でオイルを受取ってください。こぼれたオイルはただちにウエス等で拭取ってください。

2. キットパーツ取付け

- ・ キット内のパーツ(オイルクーラコア, アタッチメントボルトA, アタッチメントボルトB, AQPホース, アダプターモAssy, 取出しアタッチメントAssyのシール面, ネジ部, テーパー部)に、キズや異物の混入がないことを確認してください。
- ・ キット内の構成パーツ(フィッティング形状, ホースの長さ)を考慮し、レイアウトを決めてください。



2-1. オイルクーラコアの取付け

- (1) オイルクーラステーをオイルクーラコアに仮付けしてください。
ボルト類はキット内のものを取付け方法に合わせて使用してください。
- ・ オイルクーラコア (P1×1)
 - ・ オイルクーラステー (P9×2)
 - ・ ボルトM6 L=15 (P15×2)
 - ・ ナットM6 (P17×2)
 - ・ スプリングワッシャM6用 (P19×2)
 - ・ プレーンワッシャM6用 (P21×4)
- (2) オイルクーラステーを車両に仮付けしてください。
ボルト類はキット内のものを取付け方法に合わせて使用してください。
- ・ ボルトM8 L=20 (P16)
 - ・ ナットM8 (P18)
 - ・ スプリングワッシャM8用 (P20)
 - ・ プレーンワッシャM8用 (P22)

アドバイス

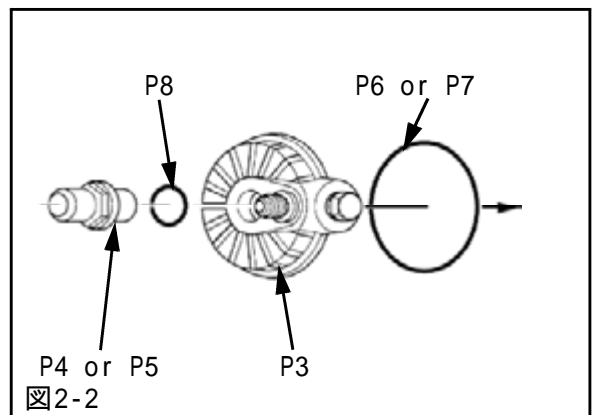
- ・ オイルクーラコアは冷却性能を高めるために風がよく当たる位置(フェンダ内等)に取付けるようにしてください。
 - ・ オイルクーラコアがボディに干渉しないように取付けてください。
 - ・ 取付ける車両および取付け方法によっては、ステーおよび車両の加工が必要となります。
- (3) 各部が干渉しないように、仮付けしたボルト類を本締めしてください。

注意

オイルクーラコアを車両に取付ける際、無理な力が加わらないように取付けてください。
振動等によりオイルクーラコアが破損する恐れがあります。

2-2. 取出しアタッチメントAssyの取付け

- (1) フィルタ取付け部からOリングがはみ出さないように、OリングJASO 3067もしくはOリングJASO 3056のどちらかサイズの近いものを選択してください。
- ・ OリングJASO 3067 (P6×1)
 - ・ OリングJASO 3056 (P7×1)
- (2) 車両によりフィルタ取付け部のネジサイズが異なるため、車両に合うアタッチメントボルトをアタッチメントボルトAもしくはアタッチメントボルトBのどちらかを選択してください。
- ・ アタッチメントボルトA (P4×1)
 - ・ アタッチメントボルトB (P5×1)
- (3) Oリング JASO 1026, 2-2.(1)で選択したOリングにエンジンオイルを薄く塗布してください。
- ・ Oリング JASO 1026 (P8×1)
 - ・ OリングJASO 3067 (P6) (2-2.(1)で選択したもの)
 - ・ OリングJASO 3056 (P7) (2-2.(1)で選択したもの)
- (4) 取出しアタッチメントAssyの内側の溝にエンジンオイルを薄く塗布したOリングJASO 3056もしくは外側の溝にOリングJASO 3067を組付けてください
(図2-2)
- ・ 取出しアタッチメントAssy (P3×1)
 - ・ OリングJASO 3067 (P6) (2-2.(3)でオイルを塗布したもの)
 - ・ OリングJASO 3056 (P7) (2-2.(3)でオイルを塗布したもの)
- (5) 2-2.(2)で選択したアタッチメントボルトの溝にOリング JASO 1026を組付けてください。(図2-2)
- ・ アタッチメントボルトA (P4) (2-2.(2)で選択したもの)
 - ・ アタッチメントボルトB (P5) (2-2.(2)で選択したもの)
 - ・ Oリング JASO 1026 (P8) (2-2.(3)でオイルを塗布したもの)
- (6) これらをエンジンのフィルタ取付け部に仮付けしてください。



2-3. アダプタサーモAssyの取付け

(1) アダプタサーモAssyにオイルフィルタ, フィッティング, AQPホースを仮付けして、取付け位置を決めてください。

フィッティングはキット内のものを取付け方法に合わせて使用してください。

- ・アダプタサーモAssy (P2×1)
- ・フィッティングストレート (P11×4)
- ・フィッティング45° (P12×2)
- ・フィッティング90° (P13×2)
- ・AQPホース (P14×1)

アドバイス

・アダプタサーモ Assyのみで位置決めを行なうと、後からオイルフィルタを取付けできなくなる恐れがあります。必ずオイルフィルタとフィッティングを仮付けした状態で確認してください。

(2) アダプタサーモ Assyをアダプタサーモステーに取付けてください。

- ・アダプタサーモステー (P10×1)
- ・ボルトM8 L=20 (P16×2)
- ・スプリングワッシャM8用 (P20×2)
- ・プレーンワッシャM8用 (P22×2)

(3) アダプタサーモステーを車両に仮付けしてください。

ボルト類はキット内のものを取付け方法に合わせて使用してください。

- ・ボルトM8 L=20 (P16)
- ・ナットM8 (P18)
- ・スプリングワッシャM8用 (P20)
- ・プレーンワッシャM8用 (P22)

アドバイス

・オイルフィルタが邪魔な場合は、フィルタを取外してから作業を行なってください。
・ステーは汎用部品のため、加工をしないと取付けられない場合があります。

2-4. オイルクーラホースの取付け

ホースとフィッティングの組付けは7ページ「ホースアッセンブリ組付け手順」を参照してください。

(1) 取出しアタッチメントAssyからアダプタサーモAssyまでのホースの長さ, アダプタサーモAssyからオイルクーラコアまでのホースの長さを確認してください。

アドバイス

・ホースの長さは、振動吸収のため余裕を持たせた必要最低限の長さにしてください。
(本書最終ページのホース配管方法を参照してください。)

(2) 2-4.(1)で確認したホースの長さに合わせてAQPホースを切断してください。

(3) 切断したAQPホースにフィッティングを取付けてください。

- ・フィッティングストレート (P11)
- ・フィッティング45° (P12)
- ・フィッティング90° (P13)

(4) 組立てたオイルクーラホースの長さに合わせて、スパイラルチューブを切断してください。

- ・スパイラルチューブ (P23×1)

(5) 切断したスパイラルチューブをオイルクーラホースに巻付け、タイラップ(中)で両端を固定してください。(図2-1)

- ・タイラップ(中) (P24)

(6) 組立てたオイルクーラホースを取出しアタッチメント Assy, アダプタサーモ Assyに仮付けしてください。(図2-1)

(7) オイルクーラホースが各部と干渉しないように取出しアタッチメント Assyの位置を調整し、アタッチメントボルトAもしくはアタッチメントボルトBを本締めしてください。

締め付けトルク N・m(kgf・m)

T=14.7~20.6(1.5~2.1)

(8) 組立てたオイルクーラホースをアダプタサーモ Assy, オイルクーラコアに仮付けしてください。
(図2-1)

(9) オイルクーラホースが各部と干渉しないようにアダプタサーモ Assyの位置を調整し、アダプタサーモステーを本締めしてください。

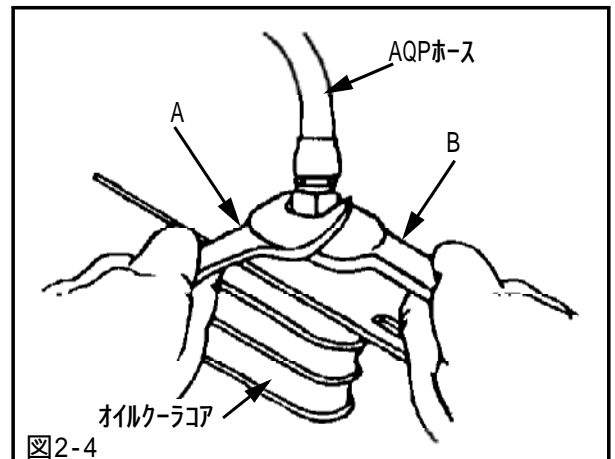
(10) オイルクーラホースが各部と干渉しないことを確認して、仮付けしたオイルクーラホースを本締めしてください。

締付けトルク N・m(kgf・m)
T=14.7~17.7(1.5~1.8)

アドバイス

・オイルクーラコアにフィッティングを取付ける時は、図のBを固定してAをまわして締込んでください。図のように取付けを行なわないと、ボスが折れる場合があります。(図2-4)

(11) オイルクーラホースを束ねてください。
・タイラップ(大) (P25)



⚠ 注意

ホース接続方向に間違いがないか確認してください。(図2-1)
IN/OUTの配管ミスは、エレメントの破損・エンジンの焼付き等の事故になります。
オイルクーラホースのフィッティングにシールテープを使用しないでください。
テープがエンジン内部に混入し、エンジンが破損する恐れがあります。

3. ノーマルパーツ取付け

(1) アダプタサーモ Assyにオイルフィルタを取付けてください。締付けトルクは整備要領書に従ってください。

(2) エンジンオイルを適量入れてください。

アドバイス

・HKS製エンジンオイルのご使用をお薦めいたします。

(3) エンジンを始動し暖気後(油温75 以上)に以下の確認を行なってください。

- ・オイル漏れがないこと
- ・オイルクーラホースがボディ,ハーネス等に干渉していないこと

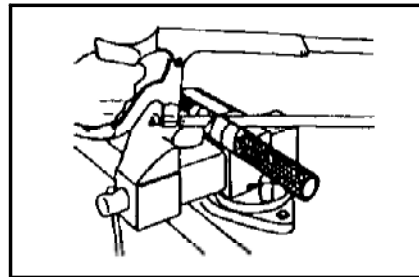
(4) 取外したノーマルパーツを取付けてください。

取付け作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行なってください。

ホースアッセンブリ組付け手順

1. ホースを切断する部分にビニールテープ等をしっかりと巻付けてください。

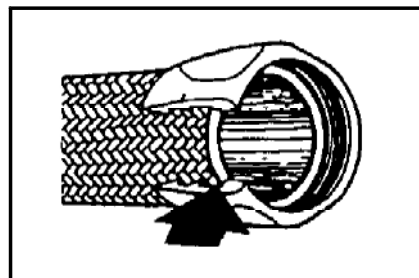
良く切れる鉄ノコ等でホースに対して直角に切断します。切断後ビニールテープをはがし、内部の清掃、チューブのバリ取り、飛び出したワイヤの整理を行なってください。



2. ソケットの内側に、ホースをねじりながら押し込んでください。

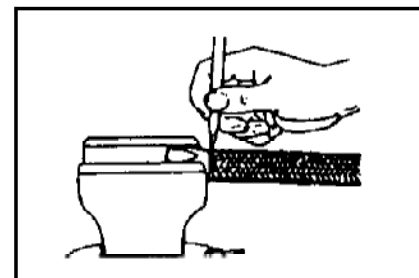
アドバイス

- ・ソケットのネジ部の奥の段になったところまでしっかりと入るように押し込んでください。

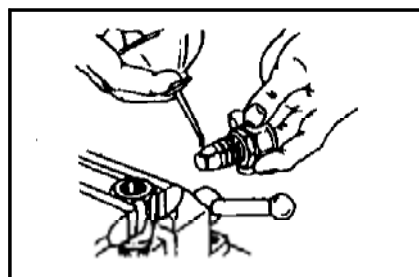


重要

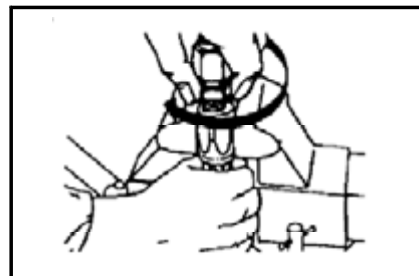
3. ソケット後端部のホース周囲にマジックやテープ等で印をつけてください。



4. ホースの内側及びニップルのネジ部に " SAE30オイル " 又は、" エアロクイップFBM3553ホースアッセンブリオイル " をたっぷりと塗ってください。



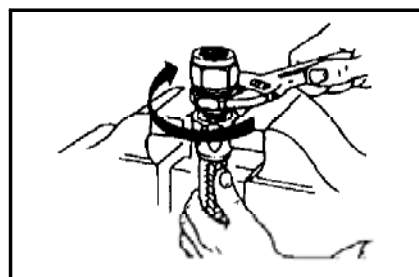
5. 片方の手でニップルを慎重に押し込みながら、ソケットとニップルのネジ部を噛み合わせ、もう片方の手でホースがずれて動かないよう、しっかりと押さえてください。



6. ソケットとニップルがしっかりと噛み合ったら、レンチを用いてニップルをまわし、締込んでください。

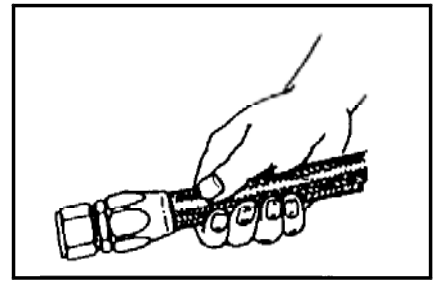
アドバイス

- ・ニップルとソケットの隙間は1mm弱程度(おおむね親指の爪の先が入るくらいの隙間)になるように締込んでください。この間、引き続きホースがソケットの元の位置から押出されないように、片手で押さえておいてください。



重要

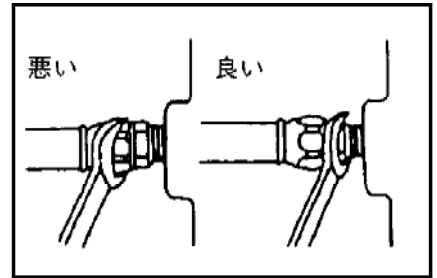
7. ホースが元の位置から押出されていないかどうか印により確認してください。もし、押出されている場合には、やり直してください。ホース及びフィッティング内にゴミ等異物がないか確認してください。さらに、水の中に入れエア圧をかけ、もれがないことを確認してください。



ホース配管方法

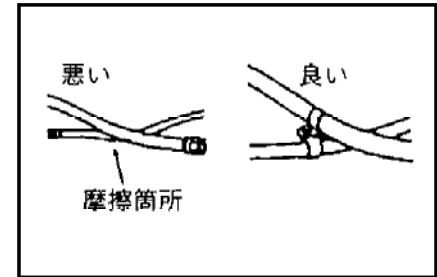
1. ホースアセンブリの取付け

- ・取付けにくいほうのフィッティングから先に取付け、手で仮締めしておきます。
- ・反対側も取付け、仮締めしておきます。
- ・スパナで片方を本締めします。
- ・ホースがねじれないよう、角度を調べてもう片方の手で本締めします。

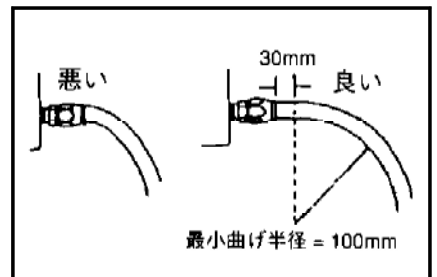


アドバイス

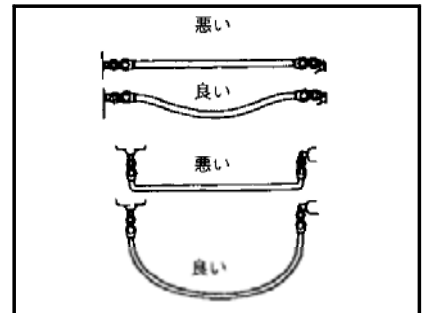
- ・スパナで締付ける時は、図のように必ずニップルの六角部にかけてください。
2. ステンレスワイヤは耐圧要素を兼ねていますので、他の部品との摩擦をさけるよう注意してください。



3. ホース部はねじれや過度の曲げによって変形しやすいため、最小曲げ半径(100mm)より小さくならないように配管してください。



4. 高圧部でホースを直線上に使用する場合、ある程度たるませてください。ホースは加圧によって長さに変化が生じるため、これを補うためにたるみをもたせ、余分な張力がかからないようにしてください。



ホース取扱上の注意

狭い箇所での配管を行なう際は、極度に曲げたりしないでください。(特にテフロンホースはゴムホースに比べて弾力性に乏しく、極度の曲げやねじれに弱い性質です。)又、ホース上に重い物をのせたり、踏んだりしないようにしてください。保管する際は、できるだけ曲げないようにし、余裕をもたせてコイル状に巻いてください。